

シンポジウム「多摩川の水、これまでとこれから～水環境と下水道～」企画案

1. 目的

奥多摩の笠取山に源を発して山梨県、東京都、神奈川県を貫流し、やがて東京湾に注ぐ流路 138km の多摩川は、利水、舟運、気候緩和、景観等々、古くから様々な「水の恵み」をもたらしながら、流域の人々の暮らしと地域社会を支えてきた。

一方で、多摩川は人口や産業の集中など、江戸時代から続く都市化の荒波に晒され続け、特に高度成長の真只中、昭和 40 年代の後半には流域からの垂れ流しや不十分な排水処理等が原因となって水質汚濁が著しく進行した。その後、流域の自治体や企業、市民の一体となった様々な取り組みによって今では見違えるまでに水質が改善され、大量の天然アユが溯上し、あちこちで「水辺の楽校」が開設されるなど、多くの市民が川に入り、水に触れながら多摩川と親しむ光景が見られるようにまでなった。

しかし各種アンケート調査等によると、多くの市民が現在の多摩川の水環境に十分に満足しておらず、一層の改善を求めている。

そこで、本シンポジウムでは、普段から多摩川の水環境に関心を持ちながら活動している市民や NPO、関係行政機関等が一堂に会し、事例発表を行うとともに

- ①地域の宝物である多摩川、その望ましい水環境とはなにか
- ②それを実現していくための行政（河川管理者、地方公共団体）と市民、NPO 等の役割はなにか
- ③そして、特にこれまでの水質改善に大きな役割を果たしてきた下水道が、今後果たすべき新たな機能と役割とはなにか等

について討論し、今後の多摩川の水環境の保全回復に貢献していくこととする。

2. 主催

特定非営利活動法人「21 世紀水倶楽部」

特定非営利活動法人「多摩川エコミュージアム」

3. 後援等（予定）

後援：国土交通省京浜河川事務所、東京都、川崎市

4. 会期

日時：平成 22 年 10 月 16 日（土曜日）

時間：午後 13 時～16 時

5. 会場及び所在地

ニヶ領せせらぎ館（2 階）

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 1-5-1

最寄り駅：登戸（JR 南武線、小田急線）徒歩 10 分

6. 参加予定

NPO、市民、行政等一定員 70 名

7. 研究集会の詳細日程 13 時～16 時

○開会 13 時

・主催者挨拶 ・趣旨説明

○ 事例発表 13 時 10 分～15 時分 各 25 (又は 20) 分—質疑応答含む)

①「多摩川と下水道～これまでとこれから～」—発表：東京都流域下水道本部計画課長 中坪雄二氏—25 分 (13 時 10 分～13 時 35 分)

要旨：多摩川流域の水のみち（使う水と使った後の水の流れ）を明らかにし、なぜ汚れたか、多摩川の水質汚濁防止の取り組み概況（特に下水道について、普及拡大、流域別総合計画と高度処理、合流式下水道の改善等々の現状）は、その結果多摩川の水環境はどこまで改善されたか。今後の課題は何か。これからどうしていくか等。

②「水辺の楽校からみた多摩川」—発表： NPO 法人多摩川エコミュージアム副代表理事、かわさき水辺の楽校校長 佐々木梅吉氏—20 分 (13 時 35 分～13 時 55 分)

キーワード：川崎水辺の楽校、魚の棲める川・手で触れることのできる川・泳げる川等の視点、多摩川の望ましい水環境

③「街づくりと水環境」—発表：多摩川エコミュージアム副代表理事 松井隆一氏—20 分 (13 時 55 分～14 時 15 分)

キーワード：街なかの「水辺・水」の価値、遠ざかった水、これからの街づくり（都市計画、治水、下水道事業等）のあり方と市民参画

④「川崎市下水道の取り組み—これまで・これから」

川崎市上下水道局 技術開発・雨水貯留管担当課長 伊達 知見氏—20 分 (14 時 15 分～14 時 35 分)

キーワード：多摩川の水質保全における川崎市の取り組み、高度処理、水辺の再生等

⑤「多摩川の水環境～新たな水質改善への取り組み～」—国土交通省京浜河川事務所河川環境課長 国頭正信氏—25 分 (14 時 35 分～15 時 00 分)

要旨：同事務所の長年の水質データ、水辺の国勢調査データ等をもとに、多摩川の水質の経年変化、下水道の効果と課題、下水道に期待するもの、河川管理者としての取り組み（なじみ放流）等を発表する。

○ 総合討論 15時10分～16時00分

各事例発表者（壇上）及び会場参加者全員

（論点）

- ① 多摩川にとって望ましい水環境とは
- ② 行政（河川管理者、地方公共団体）と市民、NPO等の役割と連携のあり方
- ③ 今日までの水質改善に果たしてきた下水道等の取り組みの効果と課題、今後行うべき取り組みとは

○ 閉会

※ なお閉会后、京浜河川事務所のご配慮により、ニヶ領宿川原堰の見学を予定。ただし、当日の気象状況等により、中止又は実施に制限を加えること有り。

※ 参加費 無料。

終了後、会費制（3,000円程度）による簡単な意見交換会（懇親会）を、シンポジウム会場近くの居酒屋で予定。